



平成 27 年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成 28 年 2 月 23 日 (火)～ 24 日 (水)

場 所：京都大学宇治キャンパス (宇治市五ヶ庄)

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約 5 分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約 6 分

入場無料

2 月 23 日 (火)

所長挨拶	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	9:30 ~ 9:35
DPRI Award 授賞式	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	9:35 ~ 9:45
受賞記念講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	9:45 ~ 10:45
特別講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	11:00 ~ 14:00
災害調査報告	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	14:15 ~ 15:15

※ 9:30 ~ 15:15 Ustream 配信します。 配信サイト：<http://www.ustream.tv/channel/dpri>

一般講演	15:30 ~ 19:15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	9:30 ~ 19:00

2 月 24 日 (水)

一般講演	9:00 ~ 12:00
ポスターセッション・コアタイム	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	12:00 ~ 14:00
一般講演・特別セッション	14:00 ~ 17:15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	9:00 ~ 15:00
優秀発表賞授賞式懇親会	宇治生協会館	18:00 ~ 20:00

一般講演会場

	A 会場 きはだホール (宇治おうばくプラザ)	B 会場 セミナー室 1+2 (宇治おうばくプラザ)	C 会場 セミナー室 4+5 (宇治おうばくプラザ)	D 会場 S-143H (宇治地区研究所本館)	E 会場 S-519D (宇治地区研究所本館)	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
23 日 (火) 15:30 ~ 19:15	地震・火山 (I)	大気・水 (I)	大気・水 (II)	地盤 (I)	総合防災 (I)	ポスター セッション (時間は上記)
24 日 (水) 午前 9:00 ~ 12:00	地震・火山 (II)	大気・水 (III)	大気・水 (IV)	地盤 (II)	総合防災 (II)	
24 日 (水) 午後 14:00 ~ 17:15	特別 セッション	大気・水 (V)	大気・水 (VI)	地震・火山 (III)	総合防災 (III)	

※詳しい会場案内図は 23 ページをご参考ください。

DPRI Award 授賞式・特別講演・災害調査報告 2月23日(火) 9:30～15:15	きはだホール
---	--------

9:30 所長挨拶

所長 寶 馨

〈災害調査報告〉 14:15～15:15

9:35 DPRI Award 授賞式

14:15

2015年ネパールゴルカの地震の建物被害調査と常時微動計測

〈受賞記念講演〉 9:45～10:45

助教 山田真澄

9:45

14:30

Technology and Policy Options for a Low-Emission Energy System in Canada

2015年関東・東北豪雨による鬼怒川流域の洪水災害

カナダにおける低炭素放出型エネルギーシステム構築へ向けた科学技術政策

准教授 佐山敬洋

カナダ・ウォータールー大学
教授 Keith William HIPEL

14:45

2014～2015年口永良部島噴火の調査報告

助教 為栗健

〈特別講演〉 11:00～14:00

15:00

11:00

災害レジリエンスと防災科学技術

災害から学ぶ - 2015年3月バヌアツ共和国を襲ったサイクロンパム-

防災科学技術研究所 理事長 林春男

准教授 西嶋 一欽

<休憩>

13:00

鉄筋コンクリート建物の耐震性改善
-中層から高層まで-

教授 田中仁史

<休憩>

一般講演……地震・火山（I） 2月23日（火）15:30～18:15	A会場 きはだホール
---------------------------------------	---------------

- | | |
|--|---|
| 15:30 A01*
A Climatological and Modelling Study of Ash Dispersal and Fallout over the Sakurajima Volcano
○Alex POULIDIS・Tetsuya TAKEMI | 17:15 A07*
AMT 稠密観測による中央構造線断層帯の浅部比抵抗構造（3）
○大内悠平・吉村令慧・田中大資・米田格・山崎友也 |
| 15:45 A02*
九州地方のGNSS速度場のクラスタ解析
○高橋温志・橋本学 | 17:30 A08*
2011年3月15日静岡県東部地震（MJMA6.4）の誘発過程に関する研究
○田村理納・宮澤理稔 |
| 16:00 A03
SARで見た関東・大阪・濃尾平野の地盤変動
橋本学 | 17:45 A09
地震波速度変化に対するコーダ波走時の感度カーネル
中原恒 |
| 16:15 A04*
2003年十勝沖地震の余効変動の特徴と粘弾性構造の推定
○伊東優治・西村卓也 | 18:00 A10*
稠密地震観測網のデータを用いた下部地殻及び最上部マントルのイメージング
○青木将・飯尾能久・片尾浩・澁谷拓郎・三浦勉・米田格・澤田麻沙代 |
| 16:30 A05
巨大地震後の粘性緩和による地殻変動の特徴：真の緩和時定数とみかけの緩和時定数の違い
○深畑幸俊・松浦充宏 | |
| 16:45 A06
地殻応力の大きさと不均一について
飯尾能久 | |

＜休憩＞

（注）○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A会場

23日午後

B会場

C会場

D会場

E会場

ポスター

A 会場 24 日 午前	一般講演……地震・火山（Ⅱ） 2月24日（水）9:00～11:30	A 会場 きはだホール
B 会場	9:00 A11 中央構造線断層帯（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）における重点的な調査観測（3） ○岩田知孝・中央構造線断層帯（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）調査観測研究グループ	10:45 A18* Development of Design Methodology for Minimal-Disturbance Arm Damper ○Lei ZHANG・Miho SATO
C 会場	9:15 A12 大阪堆積盆地における地震波干渉法による表面波群速度分布（周期2－20秒） ○浅野公之・岩田知孝・関口春子・染井一寛・宮腰研・青井真・功力卓	11:00 A19* Experimental Investigation on New Configurations of Naturally Buckling Braces ○Konstantinos A. SKALOMENOS・Hiroyuki INAMASU
D 会場	9:30 A13* 常時微動に基づく米国ネバダ州リノでの不整形盆地端部構造の影響評価に関する研究 ○福岡侑里・松島信一・川瀬博	11:15 A20 Toward Framework Development for Design and Maintenance Planning of Seismic Isolators/Dampers Subject to Wind-induced Fatigue ○Kazuyoshi NISHIJIMA・Daiki SATO
E 会場	9:45 A14* 阪神地域（尼崎～東灘）での地震記録に見られる特徴的な後続波 ○田中宏樹・岩田知孝・浅野公之	10:00 A15* 損傷状態遷移確率と余震ハザード解析に基づく被災鋼骨組の信頼性評価 ○鈴木明子・倉田真宏・Iunio IERVOLINO・新本翔太
ポ ス タ ー	10:15 A16* Identification of Steel Frame Vibration Properties Using Defective Sensor Data Thomas J. MATARAZZO	

< 休 憩 >

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

特別セッション

2月24日(水) 14:00～17:15

A会場
きはだホール

〈減災プロジェクト〉

14:00

減災社会プロジェクトの概要と成果

矢守克也

14:15

専門家と地域住民の知の融合による減災社会
を目指して～地域気象情報の取組～○竹之内健介・○中北英一・矢守克也・養老伸介・
羽生雅則・田中耕司・中島秀明

14:30

津波避難シミュレーションを核とした地域防災
の取り組み

○畑山満則・中居楓子・伊藤恵理・矢守克也

14:45

阿武山観測所サイエンス・ミュージアム化計画

○飯尾能久・矢守克也・米田格・平林英二・日岡惇・
城下英行・岩堀卓弥・阪口光・伊東和彦・片尾浩

15:00

防災専門家の「夢」のアウトリーチ～ラジオ
番組「ぼうさい夢トーク」の成果報告～

○李勇昕・近藤誠司・宮本匠・矢守克也

<休憩>

〈拠点間連携共同研究〉

15:45

Investigation of Possibilities to Reduce
the Uncertainty of Disaster Risk○Seung Han LEE・Kazuyoshi NISHIJIMA・
Shinichi MATSUSHIMA・Masatoshi MIYAZAWA・Kimihiro MOCHIZUKI・
Takashi IIDAKA・Tetsuo TOBITA・
Hiroshi KAWASE・Norio MAKI

16:00

経時変化を考慮した地震災害リスク評価手法
の構築に関する研究○佐伯琢磨・西嶋一欽・松島信一・指田朝久・
倉田真宏・牧紀男・中嶋唯貴

16:15

統合地震シミュレーションの国内展開

○堀宗朗・市村強・Lalith WIJERATHNE

16:30

絵図史料に基づく歴史地形の復元と歴史災害
の分析○蝦名裕一・岡田真介・花岡和聖・今井健太郎・
西山昭仁・加納靖之

16:45

画像データによる降灰情報収集システムの
開発○常松佳恵・吉本充宏・新堀賢志・中田節也・
井口正人

17:00

地震時建物倒壊に伴う棟単位人的損傷確率推
定手法の提案

岡田成幸・○中嶋唯貴

A
会場24
日
午後B
会場C
会場D
会場E
会場ポ
ス
タ
ー

A 会場	一般講演……大気・水（I） 2月23日（火）15:30～19:15	B 会場 セミナー室1+2
B 会場	15:30 B01* バングラデシュ・ガイバンダにおけるネスティ ングモデルを用いたハザードマップの作成 ○橋本雅和・川池健司・出口知敬・Arpan PAUL・ Mashfiqus SALEHIN・中川一	17:30 B08* 豪雨のDAD 関係を考慮した水害リスク評価 ○井上直哉・堀智晴・野原大督
23 日 午後	15:45 B02* 2DH-3D ハイブリッドモデルを用いた淀川に おける河川遡上津波発生時の塩水挙動解析 ○永島弘士・米山望・William J. PRINGLE	17:45 B09* Study on Field Application to Evaluate the Effect of the Underground Storage Box ○Dongwoo KO・Hajime NAKAGAWA・ Kenji KAWAIKE
C 会場	16:00 B03* バンダル型水制群周辺における浮遊砂を伴う 流れの特性に関する実験的研究 ○西尾慧・中川一・川池健司・張浩	18:00 B10* Linkage of Vertically Differentiated Unidirectional Freshwater Flux and Suspended Sediment Transport in the Abukuma River Mouth ○Josko TROSELJ・Yosuke YAMASHIKI・ Kaoru TAKARA・Takahiro SAYAMA
D 会場	16:15 B04* 狭窄部が網状流路の河床変動特性に及ぼす 影響 ○長谷川祐治・Tin Tin THWE・竹林洋史・ 藤田正治	18:15 B11* Experimental Study on Transportation of Suspended Sediment on Side Basin ○Rocky TALCHABHADEL・ Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE
E 会場	16:30 B05* 水・土砂災害時におけるハザード群の発生に 関する土砂災害シミュレーション ○山野井一輝・藤田正治	18:30 B12* Review of Drought Assessment and Mitigation in Indonesia ○Karlina・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA
	< 休 憩 >	18:45 B13* 同一水系内のダム貯水池群を対象とした アセットマネジメント手法に関する検討 ○倉橋実・角哲也
ポ ス タ ー	17:15 B07* 桂川流域における洪水氾濫解析及び経済被害 評価 ○原田航太・田中茂信・田中賢治・佐山敬洋・ 浜口俊雄	19:00 B32 気候変動を考慮した日本の水力発電ポテン シヤル評価 ○角哲也・桑田光明・石田裕哉・丹羽尚人・小島裕之・ 井上素行・佐藤嘉展・竹門康弘・ Sameh KANTOUSH

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……大気・水(Ⅲ) 2月24日(水) 9:00 ~ 12:00</p>	<p>B会場 セミナー室1+2</p>
--	-------------------------

9:00 B14*
Estimation of Habitat Suitability for Ayu-fish Based on Riffle-Pool Geomorphology
 ○Kouji MISHIMA・Yasuhiro TAKEMON・Sohei KOBAYASHI・Tetsuya SUMI

9:15 B15*
Hydrological Modelling of Flash Flood at Wadi Samail, Oman
 ○Mohammed Abdel-Fattah・Sameh Kantoush・Tetsuya SUMI

9:30 B16*
分布型流出モデルを用いた淀川におけるアユ遡上数の将来予測
 ○浦部真治・竹門康弘・角哲也

9:45 B17*
天竜川における副流路の湧水環境創出によるアユ産卵床の造成に関する研究
 ○泉公祐・竹門康弘・兵藤誠・角哲也

10:00 B18*
氾濫解析に使用する衛星地形データの水文地理データを用いた補正
 ○小林優・田中茂信・田中賢治・浜口俊雄

10:15 B19*
GCM 出力の解像度が積雪水量推定に及ぼす効果(2)
 ○松井佑介・田中賢治・田中茂信・浜口俊雄

10:30 B20*
Effects of Land Use Change on the Regional Climate of Paraguay
 ○Alicia PAVETTI INFANZON・Kenji TANAKA・Shigenobu TANAKA

10:45 B21*
Preliminary D4PDF Project 100-Member Ensemble Projection Analysis over Japan.
 ○Temur KHUJANAZAROV・Yasuko OKADA・Shimura TOMOYA・Kenji TANAKA・Izuru TAKAYABU・Eiichi NAKAKITA

11:00 B22*
斜面方位と天空率を考慮した短波放射量補正と山岳域における陸面モデルへの適用
 ○名村瑠架・峠嘉哉・Temur KHUJANAZAROV・田中賢治・田中茂信・浜口俊雄

11:15 B23*
中央アジア乾燥地自然植生の生理パラメータに関する検討
 ○峠嘉哉・田中賢治・Temur KHUJANAZAROV・中北英一

11:30 B24*
定期観測データで見るダム下流への置土が付着藻類の現存量に及ぼす効果
 ○宮川幸雄・小林草平・竹門康弘・角哲也

11:45 B25*
ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲初期における鉛直渦管形成の解析
 中北英一・○佐藤悠人・山口弘誠

A会場

B会場

24日午前

C会場

D会場

E会場

ポスター

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

	<p>一般講演……大気・水（V） 2月24日（水）14:00～17:15</p>	<p>B会場 セミナー室1+2</p>
<p>A会場 B会場 24日午後</p>	<p>14:00 B26 幅・水深比が1000以上の網状流路の数値解析 ○竹林洋史・藤田正治</p> <p>14:15 B27 ハイドログラフ一つのみを用いた洪水流の逆解析法に関する二、三の検討 ○細田尚・Wai Thwe AUNG・白井秀和・音田慎一郎・Hamid BASHIRI ATRABI</p> <p>14:30 B28 開水路流れ解析モデルと地盤変形解析モデルを用いた堤防破壊の数値シミュレーション ○音田慎一郎・北林資也・肥後陽介・細田尚</p> <p>14:45 B29 鉛直分布を考慮した掃流砂計測手法の現地観測への適用 ○堤大三・市田兎太郎・藤田正治・野中理伸</p> <p>15:00 B30 木津川における竹蛇籠水制の生息場形成効果 ○竹門康弘・狩野幹太・小林草平・角哲也</p> <p>15:15 B31 ミツバチコロニー最適化手法を用いた重力ダム基本断面設計法 ○浜口俊雄・田中茂信・角哲也・三島康二</p>	<p>15:45 B33 陸上からの二酸化炭素フラックスの推定誤差に関する研究 井口敬雄</p> <p>16:00 B34 高次高階ルジャンドル陪函数の高精度計算手法 榎本剛</p> <p>16:15 B35 UAVを用いた高層気象観測技術の開発 ○佐々木寛介・井上実・河見博文・小島啓美・町田駿一・渡辺豊・名取悦朗</p> <p>16:30 B36 衛星資料によるガーナ国の水環境監視 ○石川裕彦・小林健一郎・鶴沼昂・Ayilari-Naa A. Juati</p> <p>16:45 B37 GISシステムを用いた建物の強風被害に対する耐風性能要素の抽出に関する考察 ○丸山敬・美並浩成・野田博・西嶋一欽・ガヴァンスキ江梨</p> <p>17:00 B38 流域平均極値雨量の推定方法 田中茂信</p>
<p>C会場</p>	<p><休 憩></p>	
<p>D会場</p>		
<p>E会場</p>		
<p>ポスター</p>		

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……大気・水(Ⅱ) 2月23日(火) 15:30 ~ 19:00</p>	<p>C会場 セミナー室4+5</p>
---	-------------------------

<p>15:30 C01* AGCM アンサンブルを用いた梅雨期集中豪雨の 大気場特性の出現頻度に関する将来変化 中北英一・○草野晴香・峠嘉哉・Sunmin KIM</p> <p>15:45 C02* 夏季極端降水頻度と大気条件の将来変化 ○岡田靖子・竹見哲也・石川裕彦</p> <p>16:00 C03* 豪雨の「種」を捉えるための都市気象 LES モデルの開発と積雲の生成に関する研究 山口弘誠・○高見和弥・井上実・須崎純一・ 中北英一</p> <p>16:15 C04* 偏波ドップラーレーダの同化によるメソ対流系 の降水予測精度向上に関する研究 山口弘誠・○古田康平・中北英一</p> <p>16:30 C05* 降雨予測情報を活用した雨水貯留施設の実時 間制御による浸水防止と汚濁負荷削減 ○佐藤豪・城戸由能・中北英一</p> <p>16:45 C06* 領域気象モデルを用いた台風による強風の再 現に関するモデル解像度間での比較 ○伊東瑠衣・竹見哲也</p>	<p>17:15 C07* アメダスデータを用いた集中豪雨事例の抽出 とその特徴に関する研究 ○鈴木慶・石川裕彦</p> <p>17:30 C08* 都市域における大気境界層内の乱流構造に 対する LES 解析 ○吉田敏哉・竹見哲也</p> <p>17:45 C09* ガーナ国周辺地域における WRF による気象 予報試行 ○鶴沼昂・石川裕彦・Samuel Owusu Ansah・ Peter Nunekpeku・Ayilari-Naa A. Juati</p> <p>18:00 C10* ひまわり8号データを用いた地表面温度の 算出 ○山本雄平・石川裕彦</p> <p>18:15 C11* El Nino の日本冬季気候への影響 ○塩崎公大・高谷康太郎・榎本剛</p> <p>18:30 C12* 強風イベントに着目した冬期庄内平野における 風の時空間変動の解析 ○佐々木ありな・竹見哲也</p> <p>18:45 C13* 極夜ジェット振動の予測可能性 ○野口峻佑・向川均</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>C 会場</p> <p>23 日 午後</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p> <p>ポ ス タ ー</p>
---	--	---

<休 憩>

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……大気・水 (IV) 2月24日(水) 9:00 ~ 12:00	C 会場 セミナー室4+5
B 会場	<p>9:00 C14*</p> <p>アンサンブルダウンスケール実験における台風発生初期値依存性</p> <p>○吉岡大秋・筆保弘徳・榎本剛・勝俣昌己・山崎哲・横井覚・辻野智紀・舩田あゆみ・城岡竜一</p>	<p>10:45 C21*</p> <p>ニューラルネットワークを用いた最大高潮偏差予測</p> <p>○岩部紫織・森信人・安田誠宏・間瀬肇</p>
C 会場 24日 午前	<p>9:15 C15*</p> <p>強風による建物被害リスク評価のためのGISプラットフォーム</p> <p>○美並浩成・丸山敬・西嶋一欽・ガヴァンスキー江梨・野田博・友清衣利子・石川裕彦</p>	<p>11:00 C22*</p> <p>複数地点における高潮災害リスク評価法の検討</p> <p>○辻田大揮・安田誠宏・森信人・間瀬肇</p>
D 会場	<p>9:30 C16*</p> <p>波浪結合全球大気モデルによる波浪の気候への影響評価</p> <p>○志村智也・竹見哲也・森信人</p>	<p>11:15 C23*</p> <p>過去の台風によって韓国沿岸に発生した高潮の追算</p> <p>○Jung-A YANG・間瀬肇・安田誠宏・森信人</p>
E 会場	<p>9:45 C17*</p> <p>Significant Wave Height at Ao Udom Port</p> <p>○Wissanu HATTHA・Tetsuya HIRAIISHI</p>	<p>11:30 C24</p> <p>平成27年9月鬼怒川氾濫による浸水状況の分析</p> <p>○佐山敬洋・寶馨</p>
ポ ス タ ー	<p>10:00 C18*</p> <p>Hydrodynamics of Tsunami in the Vicinity of a Large Scale Breakwater</p> <p>○William J. PRINGLE・Nozomu YONEYAMA</p>	<p>11:45 C25</p> <p>線状降水帯のリアルタイム判定に関する研究</p> <p>○増田有俊・中北英一</p>
E 会場	<p>10:15 C19*</p> <p>Experimental Study of Tsunami Waves and Forces on Simple Structures Using a Hybrid Tsunami Generator</p> <p>○Adi PRASETYO・Tori TOMICZEK・Tomohiro YASUDA・Nobuhito MORI・Hajime MASE</p>	
ポ ス タ ー	<p>10:30 C20*</p> <p>不規則波による波流れ相互作用を考慮した海洋・波浪結合モデルの構築</p> <p>○今井優樹・森信人・二宮順一・安田誠宏・間瀬肇</p>	

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……大気・水 (VI) 2月24日(水) 14:00 ~ 17:15	C 会場 セミナー室4+5
---	------------------

14:00 C26 水門開放によって生じる重力流の3次元ラージ・エディ・シミュレーション 井上実	15:45 C33 20世紀前半の北極域温暖化に対する熱帯からの遠隔強制 ○時長宏樹・向川均	A 会場
14:15 C28 高解像度大規模アンサンブル気候予測データベースを用いた我が国の高潮長期評価 ○森信人・志村智也	16:00 C34 防潮堤に作用する津波波力の特性に関する模型実験 小野秀平・○平石哲也	
14:30 C29 擬似温暖化実験による地球温暖化時の極端台風の影響評価 竹見哲也	16:15 C35 構造物群との衝突を伴う多数の漂流物輸送の模型実験に対する多相場解析手法の適用性 ○鳥生大祐・牛島省・井唯博吏・柳生大輔・森信人・Adi PRASETYO・安田誠宏・平石哲也・間瀬肇	C 会場
14:45 C30 2007年3月に発生した成層圏での惑星規模波反射イベントの予測可能性 ○向川均・野口峻佑・黒田友二・水田亮・小寺邦彦	16:30 C36 沿岸市街地模型を用いた津波氾濫実験 ○安田誠宏・宮上大輝・Adi PRASETYO・加茂正人・森信人・平石哲也・間瀬肇・島田広昭	24 日 午後
15:00 C31 アンサンブルシミュレーションを用いた防災情報「台風ノモグラム」の作成と検証 ○山崎聖太・筆保弘徳・加藤雅也・竹見哲也・清原康友	16:45 C37 東日本大震災後の避難後の長期健康影響について 大澤めぐみ・原田浩二・石川裕彦・○小泉昭夫	D 会場
15:15 C32 アンサンブル予報を用いた台風性降雨シナリオに関する検討 ○辻本浩史・本間基寛・増田有俊・吉開朋弘・井上実	17:00 C27 RCM5を用いたゲリラ豪雨をもたらす大気場の出現頻度の将来変化の推定 ○中北英一・森元啓太郎	E 会場

<休憩>

ポスター

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……地盤 (I) 2月23日(火) 15:30 ~ 18:20</p>	<p>D 会場 S-143H</p>
	B 会場	<p>15:30 D01 地すべり移動時における間隙水圧の観測 ○松浦純生・柴崎達也・大澤光・佐藤北斗・土井一生・土佐信一</p>
C 会場		<p>15:45 D02* 積雪荷重が地すべり地表層の水分浸透特性に及ぼす影響 ○大澤光・松浦純生・岡本隆・松四雄騎・寺嶋智巳・柴崎達也</p>
	D 会場 23日 午後	<p>16:00 D03 積雪期の地すべり地における強風時の融雪特性 ○阿部和時・大澤光・佐藤北斗・柴崎達也・岡本隆・阿部修・松浦純生</p> <p style="text-align: center;">< 休 憩 ></p>
E 会場		<p>16:25 D04* New Experimental Constraints on Frictional Instability of Simulated Halite Shear Zones ○Yao JIANG・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI</p>
	ポ ス タ ー	<p>16:40 D05 Seismic Response of Different Compositing Stabilizing Structures to Landsliding in Shaking Table Tests ○Ning MA・Honggang WU・Xiyong WU・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI</p>
		<p>16:55 D06 On the Initiation and Movement Mechanisms of a Catastrophic Landslide Triggered by the 2008 Wenchuan (Ms 8.0) Earthquake in the Epicenter Area ○Shenghua CUI・Gonghui WANG・Xiangjun PEI・Toshitaka KAMAI・Runqiu HUANG</p>

< 休 憩 >

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……地盤（Ⅱ） 2月24日（水）9:00～12:00</p>	<p>D会場 S-143H</p>
---	-----------------------

9:00 D11*
基盤岩の異なる斜面で発生した表層崩壊の発生機構：2014年広島豪雨災害を事例に
 ○渡壁卓磨・松四雄騎・千木良雅弘

9:15 D12
2014年広島土石流災害の発生場，発達過程
 齊藤隆志

9:30 D13
台湾中央山脈のスレート地帯の重力斜面変形と斜面崩壊
 ○千木良雅弘・鄒青穎

＜休憩＞

9:50 D14
界面動電現象のモニタリングは崩壊発生タイミングの予測にどこまで使えるか
 ○寺嶋智巳・服部克巳・山崎智寛・後藤忠徳

10:05 D15
徳島県三好市地すべり斜面における比抵抗トモグラフィ
 ○後藤忠徳・寺嶋智巳・山崎智寛・服部克巳

10:20 D16
徳島県西井川地すべり斜面における自然電位モニタリング
 ○山崎智寛・服部克巳・寺嶋智巳

10:35 D17
1m深地温計測による西井川地すべりの流動地下水脈の連続観測
 ○古谷元・王功輝・末峯章・寺嶋智巳

＜休憩＞

11:00 D18
スメクタイトに富む粘土のリングせん断挙動
 ○柴崎達也・松浦純生

11:15 D19
崩壊性地すべりのすべり面に見られる粘性土の力学特性
 ○飛田哲男・河原尚徳・千木良雅弘

11:30 D20
ひずみ空間多重せん断モデルによる粘性土の力学挙動の表現
 井合進

11:45 D21
放射性汚染土壌・廃棄物の対応に関する地盤環境工学上の検討
 ○勝見武・乾徹・高井敦史

A会場

B会場

C会場

D会場

24日午前

E会場

ポスター

(注) ○は発表者を、
 発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……地震・火山(Ⅲ) 2月24日(水) 14:00 ~ 16:30</p>	<p>D 会場 S-143H</p>
B 会場	<p>14:00 D22 無人ヘリによる口永良部島火口周辺域における地震観測点の再構築 ○大湊隆雄・金子隆之・小山崇夫・渡邊篤志・神田径・為栗健</p> <p>14:15 D23 口永良部島火山噴火に伴う地震・空振エネルギーと噴火機構について ○中道治久・井口正人・為栗健・園田忠臣</p>	<p>15:45 D28 2015年に阿蘇山で発生したマグマ水蒸気爆発 ○横尾亮彦・大倉敬宏・宮縁育夫</p>
C 会場	<p>14:30 D24 2015年8月15日桜島火山で発生した群発地震活動 ○為栗健・堀田耕平・井口正人</p>	<p>16:00 D29 阿蘇カルデラ周辺の表層電気伝導度分布(2) ○鍵山恒臣・吉川慎・宇津木充</p> <p>16:15 D30 火山噴煙のレーダデータ三次元可視化 ○真木雅之・鈴木郁子・井口正人・Yura KIM・Dong-In LEE</p>
D 会場 24日 午後	<p>14:45 D25 水準測量によって測定された2015年8月15日の桜島火山におけるマグマ貫入イベントに伴う地盤上下変動 ○山本圭吾・吉川慎・松島健・大倉敬宏・横尾亮彦・井上寛之・内田和也・園田忠臣・中元真美・山下裕亮・味喜大介・松本聡・相澤広記・市原美恵</p>	
E 会場	<p>15:00 D26 先行する地盤膨張に基づく桜島昭和火口爆発の発生時刻及び規模の確率的予測 井口正人</p> <p>15:15 D27 阿蘇火山2014-2015年噴火活動について ○大倉敬宏・横尾亮彦・宇津木充・吉川慎・井上寛之・鍵山恒臣</p>	
ポ ス タ ー	<p>< 休 憩 ></p>	

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……総合防災（I） 2月23日（火）15:30～18:15</p>	<p>E会場 S-519D</p>
--	-----------------------

15:30 E01 *
和歌山県由良町衣奈における住民参加型の事前復興計画策定手法の構築
○金玟淑・牧紀男・佐藤克志・田中秀宜・岸川英樹

15:45 E02 *
ミャンマーにおける常時微動および地震動を用いた強震動予測のための地下構造の推定
○廣川夕貴・川瀬博・松島信一・Tun NAING・Myo THANT

16:00 E03 *
模型振動実験に基づく長周期構造物と摩擦制震壁の動的挙動に関する研究
○野田卓見・川瀬博・松島信一

16:15 E04 *
地震動の体感と震度の関係性に関する一考察
○杉山高志・矢守克也

16:30 E05 *
津波避難シミュレーションによる車を利用した避難計画の評価
○中居楓子・畑山満則・矢守克也・熊谷兼太郎

16:45 E06 *
災害の非日常性と社会ネットワーク形成：「災害ユートピア」に関する動学的考察
○小谷仁務・横松宗太

<休憩>

17:15 E07 *
Aratozawa Landslide Simulation Model Using LS-RAPID
○Hendy SETIAWAN・Kyoji SASSA・Kaoru TAKARA・Maja OSTRIC

17:30 E08
災害リスクコミュニケーションのための避難シミュレーションの効果的な可視化に関する考察
○畑山満則・吉川拓弥

17:45 E09
What Community Thinks about a Successful Community Based Disaster Risk Management ? Voices from the Fields of Ghana and India.
○Subhajyoti SAMADDAR・Muneta YOKOMATSU・Hirohiko ISHIKAWA・Hirokazu TATANO

18:00 E10
津波対策の経済評価のための線形空間モデル
横松宗太

A会場

B会場

C会場

D会場

E会場

23日午後

ポスター

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……総合防災（Ⅱ） 2月24日（水）9:00～11:30</p>		<p>E会場 S-519D</p>
	<p>9:00 E11* 拡散波動場理論に基づく地表の上下地震動から地震基盤での水平地震動を推定する試み ○長嶋史明・川瀬博・松島信一</p>	<p>10:45 E18* 多産業開放経済モデルによる国際的な干ばつリスクシェアリング ○石渡裕明・横松宗太・澤田洋平・小池俊雄・M.J.M.CHEEMA</p>	
B 会場	<p>9:15 E13* 観測情報に基づく建物倒壊確率を考慮した津波避難シミュレーション ○伊藤恵理・川瀬博・松島信一・畑山満則</p>	<p>11:00 E19* Detection of Flood Hazard Information with Social Media: Case Study of the Kinu River Flooding in 2015 ○Yongxue SHI・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA</p>	
	<p>9:30 E14* Application of Integrated Flood Analysis System (IFAS) for Flood Forecasting at Upstream of Kabul River Basin ○Jamila RAJABI・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA</p>	<p>11:15 E20 総合的防災教育の構築に向けて ○中井仁・矢守克也</p>	
C 会場	<p>9:45 E15* The M5 Method for Japan - a Pilot Study ○Xinyu JIANG・Jonas ELIASSON・Hirokazu TATANO</p>		
	<p>10:00 E16* Application of a Rainfall-Runoff-Inundation (RRI) Model for the Kelantan River Catchment, Malaysia ○Khai Lin CHONG・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA</p>		
D 会場	<p>10:15 E17* 災害時の水需給安定化のためのリスク・コミュニケーション戦略 ○吉澤源太郎・多々納裕一・畑山満則</p>		
	<p>< 休 憩 ></p>		
E 会場 24日 午前	<p>< 休 憩 ></p>		
	<p>< 休 憩 ></p>		
ポ ス タ ー	<p>< 休 憩 ></p>		
	<p>< 休 憩 ></p>		

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……総合防災（Ⅲ） 2月24日（水）14:00～16:45	E会場 S-519D
--------------------------------------	---------------

14:00 E21
1847年善光寺地震における地震動と建物被害の関係把握のための表層地盤構造の推定
 ○松島信一・伊東光菜畝

14:15 E22
Development of University Strengthening Program for Enhanced Contribution in Disaster Risk Reduction in Eastern Indonesia.
 ○Krishna Suryanto PRIBADI・Farah MULYASARI・Rahma HANIFA・Aria MARYANI

14:30 E23
地域の生き残りを可能にする事前復興計画策定手法の開発ー津波シミュレーションの利用と復興モニタリングー
 ○牧紀男・馬場俊孝・川崎浩司・東田光裕

14:45 E24
滑震構造＝全層免震建物の模型実験
 ○川瀬博・野田卓見

15:00 E25
事業継続計画（BCP）策定のための分析支援ツールの開発
 ○小野憲司・赤倉康寛

15:15 E26
土石流シミュレータを用いた土石流発生時の避難経路の検討
 ○糸数哲・中谷加奈・山野井一輝・藤田正治

<休憩>

15:45 E27
ResTO-TerRiN Project: Towards Territorial Resilience to Complex Disasters.
 ○Ana Maria CRUZ・Eric PIATYSZEK・Junlei YU・Akihiko HOKUGO・Carine EL HAJJ・Michel LESBATS・Alicja TARDY

16:00 E28
津波火災のシミュレーションモデルの構築に関する研究
 西野智研

16:15 E29
自然災害の経済影響評価のための応用一般均衡モデルの適用に関する課題と展望
 多々納裕一

16:30 E30
緊急支援物資輸送（ERL）のシミュレーション
 ○熊谷兼太郎・小野憲司

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

24日
午後

ポ
ス
タ
ー

（注）○は発表者を、
 発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>ポスターセッション 2月23日(火) 9:30~19:00 24日(水) 9:00~15:00</p> <p>ポスターセッション・コアタイム 2月24日(水) 12:00~14:00</p>		<p>ハイブリッドスペース</p>
B 会場	<p>P01 残存性能モニタリングと広域余震ハザードに基づく被災建物健全性の時間変化予測</p> <p>○倉田真宏・新本翔太・鈴木明子・山田真澄・楠浩一・宮元匠</p>	<p>P08 不確実性を伴う災害情報の表現方法に関する言語学的検討</p> <p>○本間基寛・新井恭子・鈴木靖・木谷和大・辻本浩史</p>	
C 会場	<p>P02 活断層と建物被害の情報に基づく歴史被害地震の断層モデル構築に関する研究</p> <p>○吾妻崇・松島信一・市村強・野澤貴</p>	<p>P09 不均質震源モデルの比較</p> <p>関口春子</p>	
D 会場	<p>P03 大起伏山地における大規模岩盤崩壊の発生場と誘因：地形解析と露出年代測定からの推定</p> <p>○松四雄騎・松崎浩之・吉田英嗣・金田平太郎</p>	<p>P10 * Microtremor Survey in Sagaing City, Myanmar for Future Seismic Hazard Mitigation</p> <p>○Phyoe Swe AUNG・Hiroshi KAWASE・Shinichi MATSUSHIMA・Tun NAING</p>	
E 会場	<p>P04 地球科学における学際的分野への参入過程～革新的研究者のオーラルヒストリーから～</p> <p>○林能成・山田俊弘・栗田敬・野内玲</p>	<p>P11 * Impact of High Tourism and Agricultural Activities to Water Scarcity in Bali Island, Indonesia</p> <p>○Eva Mia SISKA・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA</p>	
ポ ス タ ー 	<p>P05 * 「鯨絵」から見る東日本大震災の復興</p> <p>○李勇昕・矢守克也</p>	<p>P12 * Flood Mitigation Considering Low Impact Development in an Urbanized Watershed</p> <p>○Maochuan HU・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA・Han XUE</p>	
	<p>P06 * 満点計画学習プログラムにおける知識共有についての考察</p> <p>○岩堀卓弥・矢守克也・城下英行・飯尾能久・米田格</p>	<p>P13 * Sediment Related Problems in the Ayeyarwady River, Myanmar</p> <p>○Tin Tin Htwe・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA</p>	
	<p>P07 大学で「地球科学」に触れる –京都大学・全学共通教育・地球科学系実習科目での試み–</p> <p>○石川尚人・加藤護</p>		

(注) ○は発表者を、
 発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

P14

地域防災に資する簡便な斜面危険度評価手法の開発

○藤本将光・藤田正治・山川陽祐・宮田秀介・三森利昭・地頭蘭隆・戸田堅一郎・堤大三

P15

Case Study of Earthquake Museums Landslide in Tehran City (Iran)

○Zahra Mohammadi ASL・Toshitaka KAMAI

P16*

TOPOTUBE による地形分割を用いた流域スケールの表層崩壊および土砂流出の解析モデル

○孝子綸図・堤大三・山野井一輝・藤田正治

P17

精密水準測量によって検出された 2014 年御嶽山噴火前後の上下変動とその解釈

○村瀬雅之・木股文昭・山中佳子・堀川信一郎・松廣健二郎・松島健・森濟・吉川慎・宮島力雄・井上寛之・内田和也・山本圭吾・大倉敬宏・中元真美・吉本昌弘・奥田隆・三島壮智・園田忠臣・小松信太郎・片野凱斗・池田啓二・柳澤宏彰・渡辺茂・中道治久

P18

気象レーダによる定量的降灰量推定

○高橋忍・真木雅之・井口正人

P19*

複合地盤変動観測によって 2015 年 8 月 15 日に検出された桜島への急速なダイク貫入

○堀田耕平・井口正人・為栗健

P20

地殻歪の年周変化について

森井互

P21

微小地震の発震機構について (2)

片尾浩

P22

宮崎観測所における日向灘浅部スロー地震のモニタリング

○山下裕亮・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・澁谷拓郎・西村卓也

P23

四国西部域での広帯域 MT 観測

○吉村令慧・山崎健一・小川康雄・川崎慎吾・中川潤・小松信太郎・米田格・大内悠平・鈴木惇史・齋藤全史郎・寺石眞弘

P24

南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究 (2)

○澁谷拓郎・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・三浦勉・大倉敬宏・吉川慎・井口正人・為栗健・園田忠臣

P25*

地磁気地電流法における電気伝導度異方性のある 1 次元層構造に対する WAL 走向の一般的性質

○岡崎智久・大志万直人・吉村令慧

P26*

円筒形岩石試料の高解像度比抵抗イメージングにむけた模擬実験

○鈴木健士・吉村令慧・大志万直人

P27*

東北地方太平洋沖地震による岩盤の透水性変化

○木下千裕・加納靖之・松本則夫・伊藤久男

P28*

海洋プレート内地震の発生頻度と海底年代の関係およびその発生メカニズムの考察

○上山和也・深畑幸俊

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー

P29

1982（明治 15）年の泥雨記事

加納靖之

P30 *

Text Encoding Initiative ガイドラインに基づ
く古地震史料の電子化

○橋本雄太・加納靖之・大邑潤三

P31

動的円盤載荷による地盤動特性の推定手法に
関する実験的検討

江口拓生・○後藤浩之・川方裕則・土井一生・
高橋直樹・澤田純男

P32

埋設管引抜き摩擦における速度依存特性の素
因分析

竹本幸士郎・○澤田純男・後藤浩之

P33 *

盛土形状を考慮したカルバート縦断方向の地
震時挙動に関する遠心模型実験

○宮崎祐輔・澤村康生・岸田潔・木村亮

P34 *

水槽を用いた天然ダムの決壊機構に関する
実験研究

○阪本さよ・王功輝・釜井俊孝

P35 *

樹木分布が強風時の融雪特性に及ぼす影響

○佐藤北斗・松浦純生・阿部修・平島寛行・丸山敬・
中町聡・柴崎達也・大澤光

P36

紀伊山地中央部の飛養曾地区における重力変
形斜面の形成について

○荒井紀之・千木良雅弘

P37 *

異なる気候環境下の花崗岩山地における土層
の形成速度と化学的風化

○當坂康紘・松四雄騎・松崎浩之

P38 *

柱状節理に囲まれた花崗斑岩の物性構造

○平田康人・千木良雅弘

P39

ジャカルタにおける豪雨予測への都市活動情
報導入とその精度評価

Muhammad SYAHIR BIN MD DIN・○相馬一義・
Hasti WIDYASAMRATRI・末次忠司・馬籠純・
石平博・田中賢治

P40

京都市近郊における気象観測結果の解析

堀口光章

P41

次世代気象衛星ひまわりでみる京阪神地域の
ヒートアイランド現象

○奥勇一郎・木本絢子・梶元慶子・山本雄平・
石川裕彦

P42

GNSS による大阪湾上の水蒸気情報と豪雨に
関する研究

○林和成・大石哲・山口弘誠・古田康平・小川まり子・
中北英一

P43

田辺中島高潮観測塔における 2015 年夏季観
測結果

○馬場康之・水谷英朗・久保輝広・内山雄介・森信人・
渡部靖憲・山田朋人・猿渡亜由未・大塚淳一・
二宮順一

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

P44

大気再解析データと物理型水循環モデルを用いた河川流量の長期時系列模擬作成に関する研究

○萬和明・黒崎直哉・市川温・立川康人

P45

黒部川下流域における流木動態解明の試み

○佐々木謙吾・手計太一・角哲也・竹門康弘・小林草平・Sameh Kantoush

P46

河川流速の自動計測を目的とした自律制御ロボットを試作開発

○山上路生・長坂豪士・磯部駿佑・岡本隆明・金子泰洗ポール・今井貴大

P47

河道閉塞時に発生する橋梁迂回流による氾濫被害に関する実験的研究

○岡本隆明・竹林洋史・戸田圭一・山上路生・柴山優人

P48 *

A Study on Warning and Evacuation System for Sediment Disasters in the Tseng-wen Reservoir Watershed

○Chen Yu-Chin・Masaharu FUJITA

P49

流起式可動防波堤の実大スケール実験

○東良慶・伊藤忠男・半田英明・植木利洸・平石哲也・菅野高弘

P50

大瀉海岸・上下浜の海底地形と海底底質の粒度組成 ー主に弧状沿岸砂州においてー

内山清

P51

排砂バイパスの運用とダム下流環境の変化 ー河床粗度と流水・止水ハビタットの多さに着目してー

○小林草平・角哲也・竹門康弘

P52 *

Experimental Study on the Erosion and Collapse of Weak Cohesive Riverbanks

○Ahmed ALY ELDIEN・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA

P53

簡易 Lagrange 型解法を用いた掃流砂モデルによる富田川河床変動シミュレーション

○水谷英朗・武藤裕則

P54

山地溪流における土砂供給に対する河床地形変動の連続観測

○宮田秀介・堤大三・市田兎太郎・藤田正治

P55 *

Alternate Bars on Bed Composed of Cohesive and Non-Cohesive Material Layers

○Nguyen Manh Minh TOAN・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA

P56 *

二次元河床変動計算によるハビタット構造の形成・消滅過程の解析

○西浦潤・竹林洋史・藤田正治

A
会場

B
会場

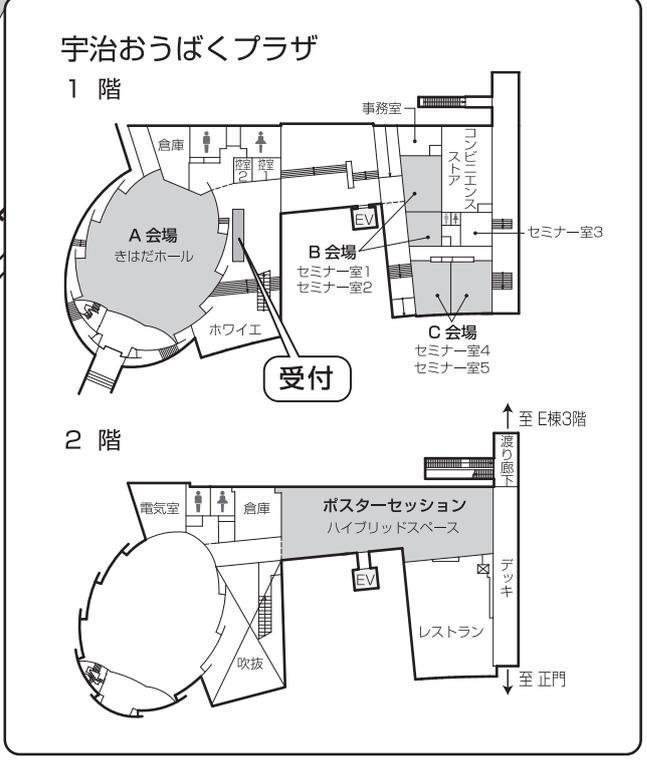
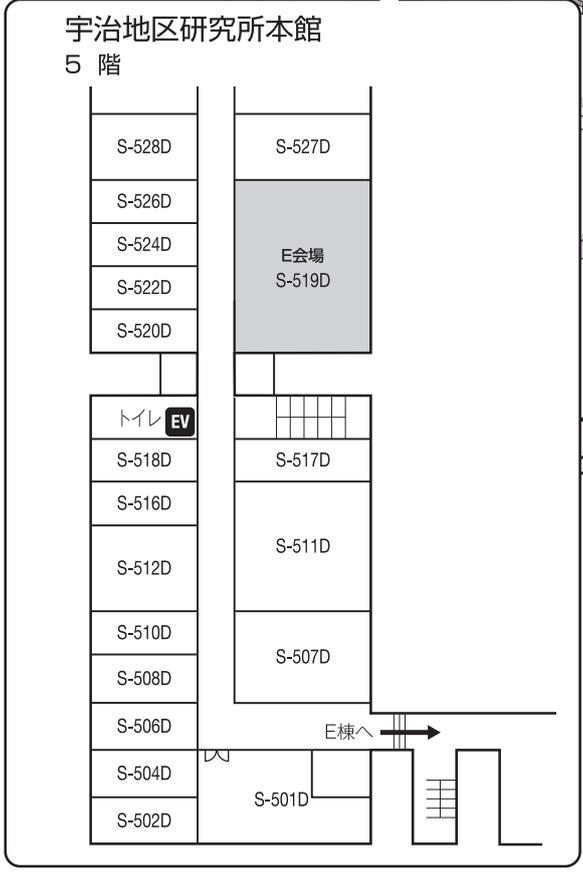
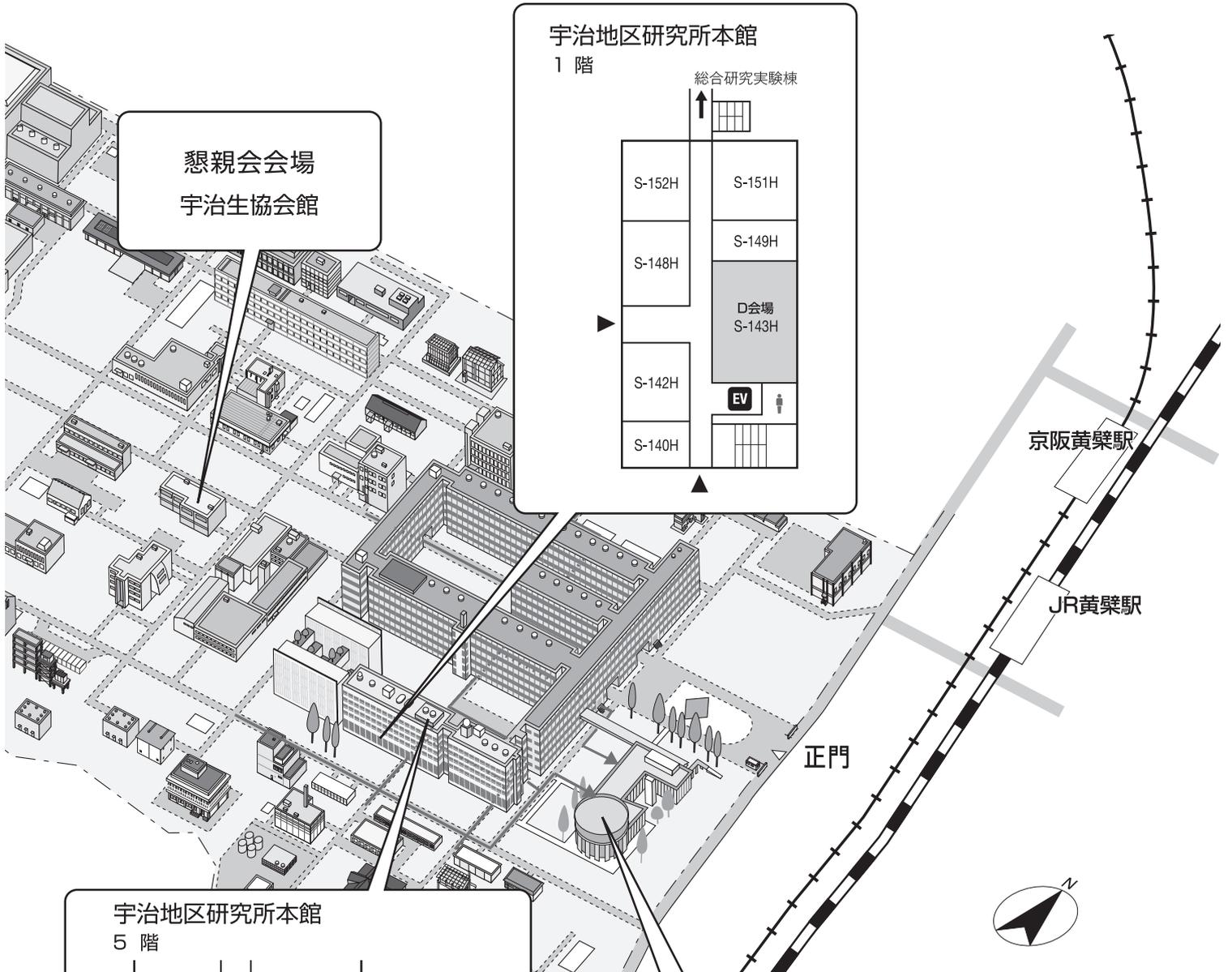
C
会場

D
会場

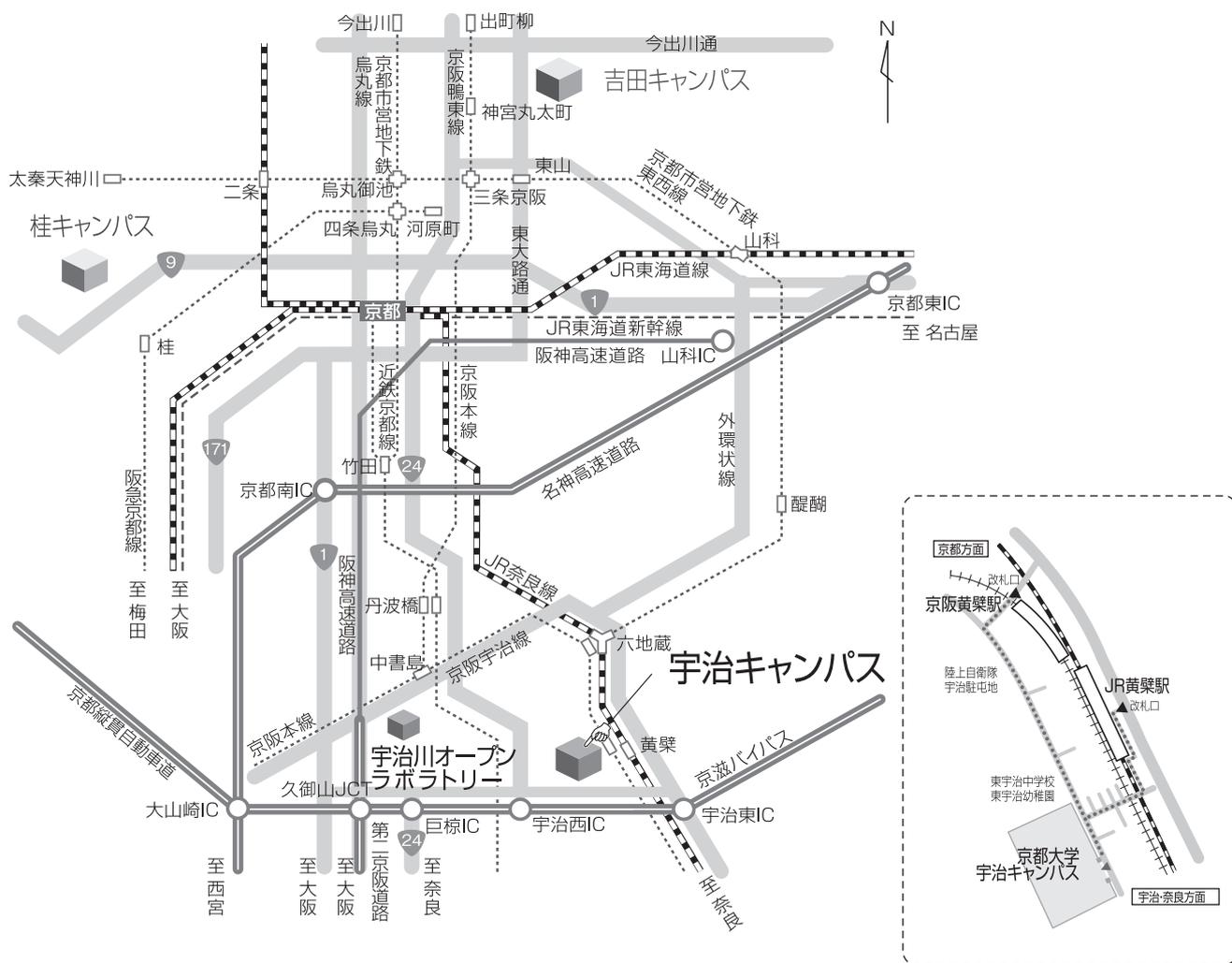
E
会場

ポ
ス
タ
ー

(注) ○は発表者を、
発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。



会場へのアクセス



～ 優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内 ～

日時：平成28年2月24日（水）18：00～20：00

場所：宇治生協会館（23ページの地図をご参考ください）

[教職員・学生の皆さまへ]

懇親会はチケット制で事前申し込みが必要です

[連絡先]

京都大学防災研究所広報出版企画室

0774 (38) 4640

e-mail : dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp